

日本民放クラブ会長

村上 光一



出合いの喜びをふたたび
マスク着用は変わりま
せんが、まずはめでたい年
の初めです。
それにしてもこの二年
間民放クラブにとって、あ
らゆる活動が著しく制限
された苦しい日々でした。
ただ、会員のかたの中に
は、この制約の多い日々を
むしろなにかに取り組む
好機とした方も多いので
はないでしょうか。私の友
人で、古い手帳を整理して
一冊の「自分史」をまとめ
上げた男がいます。会報で
も同好会が休止の間、地域
活動に励まれた方の報告
がありました。前を向こう
の心意気でしょう。
昨年この新年会報で
私が予想した活動再開は、
結局一年空文となってい
ました。が、まずは止ま
っていた公式行事を全国
でスタートさせ、さらに多
彩な会員交流につなげた
と思います。あらためて、
この世界で唯一ともいう
べき「放送界OBの全国懇
親組織」の価値に思いをい
たし、また元気で民放クラ
ブでの再会を果たしまし
よう。

北海道民放クラブ会長

長沼 修



新年おめでとうございま
す。
猛威を振るった新型コロナ
ナもようやく少し落ち着い
て北海道民放クラブの活動
も少しずつ動き出しました。
残りの人生がだんだん少
なくなってくる私たちにと
って、何もできない時間は
本当に切ないものでした。
コロナ対策に細心の注意
を払いながら有意義な時を
過ごしていきたいと思いま
す。
今年寅年ですが北海道
に虎はいません。その代わ
りもつと恐ろしいヒグマが
たくさん生活しています。
去年は鉄道を横切り、札幌
の下町の住宅街にまで出現
しました。
海ではサケやサンマがい
なくなり、ブリなどの南の
魚がたくさん獲れています。
温暖化のせいでしょうか。
SDGs が叫ばれていま
すが、人間にとっても動物
たちにとっても持続可能な
平和な社会が保たれること
を祈念して、ホッケの飯鮨
を肴にお屠蘇をいただく令
和四年の年頭です。

東北民放クラブ会長

水上 健治



あけましておめでとうござ
います。毎年、ことしこそ
は平穏な年であるよう願っ
ておりますが、今年ほどこ
の思いを強く感じることは
ありません。
2年続きのコロナ禍によ
る逼迫感、地域経済や諸
活動の停滞を呼び重苦しい
気運が漂っていました。よ
うやく改善の兆しが表れて
きています。
もう負けてはいられませ
ん。東北民放クラブの会員
総会が2年連続で中止とな
ったり、各同好会の活動が
縮小・中止などかなりの影
響を受けました。この閉じ
籠り状況を払拭し活気ある
活動を細心の気配りをもつ
て広く展開していきたいと
考えております。
一例ですが、当クラブの
予算に「地区交流支援費」が
計上されています。各県の
会員交流に大いに活用して
頂き、尚一層の広がりをも
待っています。
今年こそ同好会や社会活
動部会の活動に大いに発散
しようではありませんか。
皆さんのご協力をお願い
申し上げます。

日本・関東民放クラブ理事長

榎本 恒幸



明けましておめでとうござ
います。
昨年はコロナに明け、コ
ロナに暮れた年でした。民
放クラブの最良のコンテ
ンツである同好会活動も
開店休業状態に追い込ま
れました。理事会、もろも
ろの打合せもZoom会
議で代替しました。これに
より関東民放クラブのデ
ジタル化は飛躍的に進展
しましたが常に物足りな
さが残りました。Zoom
の中では、その時々での場
の空気、流れの中から次に
繋がっていく良き逸脱、発
展が生まれにくいなあど
感じました。
事務処理の面でのIT
は欠くことができないツ
ールですが、人間対人間の
世界では直接コミュニケーション
1 ションが最良のツール
だと改めて思いました。
2022年は人と人と
が触れ合う場を増し、密な
会員関係の構築を目指し
ていきましよう。

北陸民放クラブ会長

伊藤 貴夫



10月につるし柿つくり
の集いを開催しました。コ
ロナ禍の中、2年近く外出
を控えている状況での開
催でしたが24名の参加が
ありました。注意しながら
も、やはり久しぶりの再会
で、若干会話のテンション
もあがりましたが無事終
了することが出来ました。
やはり年に何回かは顔を
あわせる機会をつくらな
ければと改めて思いま
した。
旅行なども実施出来れ
ばと考えていますが、次の
波がきた場合は中止もあ
ると考えるとなかなか企
画できません。
また会員の高齢化も進
んでおり、免許返上の会員
も少しずつ出てきました。
車社会である福井では、交
通の便が悪い遠方の会員
は参加しにくくなってい
ます。
歩く距離は少なく、少量
でも美味しい食をメイン
に気軽に参加できる企画
を皆さんと考え提案して
いききたいと思えます。

東海民放クラブ会長
手塚 純夫



会員の皆様、あけましておめでとうございます。皆様には、お元気に新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。昨年の私は、のんびりした一年でしたが、終わってみれば早かったように感じております。自粛生活の中、6月に2回のワクチン接種で、少し安心していましたが、マスク着用と三密を避けて、テレビ観戦やパソコン相手の毎日でした。エンジェルスの大谷選手の活躍ぶりは毎日のように楽しみました。日本プロ野球では、前年最下位だったヤクルトとオリックスが、それぞれのリーグ優勝を輝きました。後半戦の力強い戦いぶりには感動すら覚えたものです。何がそんなに強くなったのか、練習あるのみ」と言われても、各チーム、各人がそれぞれ厳しい練習をしてきたわけですから、私には、なかなか納得いかない話です。さて、新しい年を迎え、地元、立浪ドラゴンズの活躍を楽しみながら、民放クラブにおきましては、多くの方と再会し、楽しく部活動をしていけることを祈っております。

関西民放クラブ会長
山本 雅弘



明けましておめでとうございます。と云え、コロナが明けた、わけではなく、世界では感染者の再増加が目立ち始めています。ワクチンの3回目接種や治療薬の開発が急がれます。それでも十一月以降、当クラブの活動は徐々に再開をはじめました。毎月の理事会は久しぶりにフルメンバーで実施、二十ある同好会もほぼすべて再開しました。ゴルフ同好会は十一月三十日に、東京、四国からの皆さんとご一緒に開催しました。「全国大会」をめざしましたが、このご時勢で不十分な形になりました。来年以降にぜひ実現していただきたいものです。一方で十月に当クラブが幹事役で予定されていた囲碁の全国大会は開催できませんでした。コロナの第6波はむしろ要注意ですが、今年はクラブの活動が本来の状態に戻るよう、精力的に動くことを心がけたいと思います。

中国民放クラブ会長
安東 善博



「令和」も4年目を迎えました。「人々が、美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」として名付けられたといわれています。果たしてそのような世の中になっっていくつつあるのでしょうか。コロナ感染症の直撃が人と人を分断し、ITの普及が人と人との視・聴・嗅・味・触の五感の交わりを視と聴で可能にしていく。そんな社会が続く、格差社会と呼ばれるようにもなりましました。コロナに打ち勝ち、ITを活用しながら、五感をフル回転させて、人と人の温もりのある交流を中国民放クラブは目指します。そして、今年「核なき世界」を前進させたい。岸田文雄首相は、広島県選出としては戦後3人目の首相ですが、爆心地を選挙区にする首相としては初めてです。核兵器廃絶に向けて「核保有国と非核保有国の橋渡し役として」ではなく、「核保有国を非核保有国に引っ張り込む」大役を担ってほしい。その後押しを中国民放クラブは担いたいのです。

四国民放クラブ会長
田村 祐二



令和3年度四国民放クラブの活動は、昨年度に引き続きコロナ禍の為、総会・役員会の議題は書面による承認になりました。この間、各部会活動も休眠状態になっていて、この2年間会員同士がお互いに顔を合わせる機会を持つことが出来ませんでした。リモートによる意思疎通、書面による承認など、活動の最低限の必要事項は消化してきましたが、会員の減少は更に顕著になっていました。一年延期した2020東京オリンピック・パラリンピックは、関係者の努力と協力で、危惧されていた大きな問題も起きず無事終了しました。そしてこの挨拶文を書いている今の時期、コロナ禍もある程度の落ち着きを見せ始めて、政府の方針も対策と経済の両面へと舵を切り始めています。四国民放クラブも会員の高齢化と減少傾向という構造的な問題を抱えながら、新規会員の加入、各部会活動の再スタート、活性化をどう実現していくか、大きな課題を抱えた新年になります。今年もよろしくお願致します。

九州民放クラブ会長
宮崎 勝巳



明けましておめでとうございます。新型コロナウイルスは、国民の暮らしを大きく変えました。会員の皆さんにはコロナ禍の拘束された生活を無事のり越えたと思えますが、戦いは更に続くので気を緩めず日々をお過ごしください。政府はこれまでの対応の遅さを反省し挽回するためにも、国産治療薬の開発に更なる予算で加速させ、生産体制の強化に全力投入して欲しいものです。オリンピック開催には賛否両論の声がありましたが、世論調査の結果として「国民の70%台が開催反対」と報じた中で、日本人選手の感動的活躍で最高級のメダル獲得は、国民の声を「開催して良かった」と概ね全体の3分の2近くの変貌、結果でぶれる国民性なのでしょうか？とところで我がクラブの総会・懇親会は2年中止、今年こそ開催できる事を祈ります。